

みずほCustomer Desk Report 2016/11/01号(As of 2016/10/31)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	104.81
TKY 9:00AM	104.58	1.0982	114.84	0.9877	1.2204	0.7594
SYD-NY High	105.23	1.0994	115.26	0.9907	1.2249	0.7619
SYD-NY Low	104.27	1.0936	114.62	0.9869	1.2144	0.7583
NY 5:00 PM	104.81	1.0981	115.11	0.9892	1.2239	0.7608
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.22/10.64	△25RR	1.203	Yen Call Over		
NY DOW	18,142.42	▲18.77	債券市場			
NASDAQ	5,189.14	▲0.97	日本2年債	-0.2390	▲0.3bp	
S&P	2,126.15	▲0.26	日本10年債	-0.0480	▲0.6bp	
日経平均	17,425.02	▲21.39	米国2年債	0.8409	▲1.2bp	
TOPIX	1,393.02	0.61	米国5年債	1.3067	▲1.8bp	
シカゴ日経先物	17,420	▲5.00	米国10年債	1.8255	▲2.1bp	
ロンドンFT	6,954.22	▲42.04	独10年債	0.1630	▲0.4bp	
DAX	10,665.01	▲31.18	英10年債	1.2450	▲1.5bp	
ハンセン指数	22,934.54	▲20.27	豪10年債	2.3450	▲3.1bp	
上海総合	3,100.49	▲3.78	為替市況	USD/CNH	6.7777	▲0.0071
USDJPY 3M Vol	10.77	0.27%	商品市況	ドルインデックス	98.34	▲0.01
USDJPY 6M Vol	10.81	▲0.00%	CRB指数	186.276	▲2.93	
EURJPY 3M Vol	10.85	0.29%	NY金	1,273.100	▲3.70	
EURJPY 6M Vol	11.25	0.04%	WTI	46.860	▲1.84	
			Dubai Spot	45.83	▲0.85	

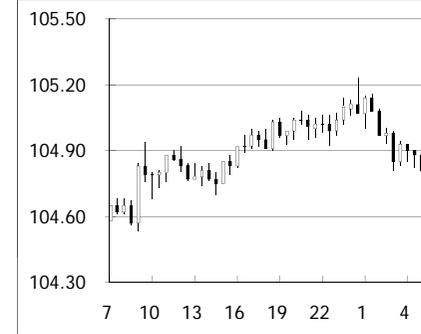
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月31日	8:50	日 鉱工業生産-速報値(前月比/前年比)	9月 0.0%/0.9%	0.9%/1.9%
	8:50	日 小売売上高(前月比)	9月 0.0%	0.2%
	19:00	欧 CPI予想/GPIコア(前年比)	10月 0.5%/0.8%	0.5%/0.8%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)-速報値	3Q 0.3%/1.6%	0.3%/1.6%
	21:30	米 個人所得/個人支出	9月 0.3%/0.5%	0.4%/0.4%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	9月 0.1%/1.7%	0.1%/1.7%
	22:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	10月 50.6	54.0

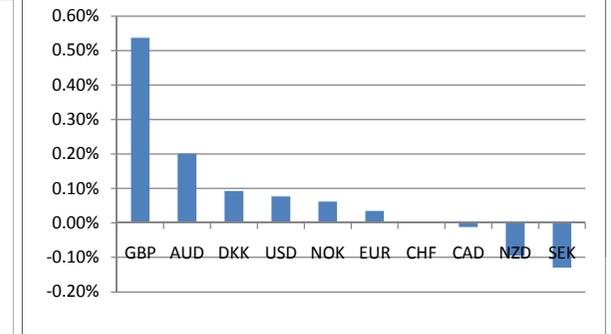
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月1日	10:00	中 製造業/非製造業PMI	10月 50.3/-	50.4/53.7
	10:45	中 Cairn製造業PMI	10月 50.1	50.1
	12:30	豪 RBA政策金利発表	-	1.50%
	-	日 日銀金融政策決定会合	-	-
	-	経 経済・物価情勢の展望レポート公表	-	-
	15:30	日 黒田日銀総裁会見	-	-
	18:30	英 マークイット製造業PMI	10月 54.5	55.4
	21:30	加 GDP(前月比/前年比)	8月 0.2%/1.3%	0.5%/1.3%
	22:45	米 マークイット製造業PMI-速報値	10月 53.2	53.2
	23:00	米 ISM製造業景況指数	10月 51.7	51.5
	23:00	米 建設支出(前月比)	9月 0.5%	-0.7%
	-	米 FOMC(11/1-2)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.50-105.60	1.0900-1.1000	114.50-115.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル/円は上に行きつづけた展開となった。104円台後半で推移していたドル/円は、米9月個人消費支出などの良好な結果を好感し一時105.23まで上昇。しかしその後は、週末に開かれた石油輸出国機構(OPEC)加盟国と非加盟国による協議で減産合意への足並みが揃わなかったことなどを背景に原油価格が大幅下落し、米国株も軟調推移する中、米金利の低下を横目にドル/円も104円台後半まで押し戻される格好となった。本日のドル/円は底堅い推移を予想。基本的には、昨日の軟調な株式市場や原油相場の動きを受け上値の重さを意識するも、米9月ISM製造業景況指数が良好な結果となれば米年内利上げ観測をサポートする形から直近高値の105.54を試す展開もあり得るだろう。日銀政策決定会合については、現行据え置きが予想され市場への影響は限定的と見られる。

東京	先週金曜日にクリントン大統領候補の私用メール問題を受けてリスクセンチメントが後退した流れを引き継ぎ、104.75レベルで午前時間オープン後、一時104.27まで下落。しかし、流動性が薄い時間帯での一時的な動きに止まり、すぐに104.60近辺まで持ち直す。東京時間オープン前に発表された本邦9月鉱工業生産(前年比)は+0.9%(予想:+1.9%)と市場予想を下回る結果となるも、マーケットの反応は限定的。その後、東京時間のドル円は104.58レベルでオープン。月末に伴う実需勢のドル買い期待等を背景に、仲値にかけて104.90近辺まで上昇する場面が見られたものの、105円までは届かず104.70近辺まで反落。その後は翌日に日銀金融政策決定会合を控えて動きづらいつづけた展開が続き、結局104.83レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は104.83レベルでオープン。ドル円上昇の動きが継続する中、特段材料もなく105.03レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.2185レベルでオープン。引き続きハードブレグジット懸念で軟調地合いが継続し、1.2167レベルでNYへ渡った。ユーロ円は114.93レベルでオープン。特に目立ったニュースはなく、小動きの中115.01レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は105.03レベルでオープン。朝方発表された一連の米経済指標で、個人支出が良好だったことやPCEコアデフレーターが改善傾向であったことなど、12月米利上げ観測に追い風となるものではあったが、市場では相応に織り込まれていることもあり、市場の反応は限定的となった。その後、シカゴPMIIは予想を下回ったがドル売りは一時的に留まり、結局ドル円は一時105.23まで上昇した。しかし、ロンドンフィックスを過ぎるとドル売り圧力が強まる展開となり、また産油国の協調生産調整に向けた取り組みへの懐疑的な見方が一層強まったことで原油価格が大幅下落となると、リスク回避の動きにドル円は105円を割り込む展開となった。終盤、断続的ドル売りが見られ、ドル円は一時104.78まで値を下げて104.81レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.0950レベルでオープン。朝方からのドルの買い戻しが優勢となる中、ユーロドルはじり安の展開となり、一時1.0936まで値を下げた。しかし、ロンドンフィックスを過ぎると急速にドル売り地合いに転じ、ユーロドルは1.0970付近まで反発。その後ユーロドルは一時1.0983までじりじりと上値を広げ、1.0981レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。